

ボーイスカウトで英語を使おう

浜嶋 敏一郎

「グッドモーニン」

「グッドモーニン」

ビーバー隊の朝の挨拶は、このように始まります。

そう、豊中2団は、英語を使う団なのです。

まこと君が9月に入隊した豊中第2団のビーバー隊は、隊集会で英語を使っています。・・・と言ってもたいしたことではありませんよ。

隊長や副長は、スカウトが集合場所にやってくると、まず挨拶をします。9月の隊集会から始めました。それまでは、「おはよう」と「おはようございます」でした。

それでは、初めて英語の挨拶をした9月13日の様子を物語風に振り返ってみましょう。

まこと君がレストハウスに近づくと、白木隊長と浜嶋団委員長が待っているのが見えた。他のリーダーはいない。どういうことだろうか。

白木隊長が、まこと君とお母さんに近づいてきた。

「グッドモーニング！」

ん、なに？ まこと君は、何も言えないままじっと固まってしまった。

「まこと君、グッドモーニング・・・言えない？ おはよう」

「おはよう」

「はい、自転車をあそこに置いてきてね。一緒に移動するから」

次に、ひとみちゃんがきた。

「グッドモーニング！」

また、白木隊長がひとみちゃんに向かって言った。やっぱり、返事はでなかった。

けいた君がやってきた。

「グッドモーニング！」

「グッドモーニング」

小さな声で言った。

「けいた君、言えたね！」

その後、けいこちゃんと言えなかったけど、たかし君も言えた。2年生のビッグビーバーは英語で返事ができたが、1年生は全滅だった。

まこと君は、「しょうがないけど、頑張らないといけないな」と思った。

初めての日はこんな感じでした。1年生と2年生では、違いがあります。

浜嶋団委員長は、9月6日の入隊式の挨拶で、参加者全員に「2団はこれから英語を使う団にします」と宣言しました。この時の挨拶も一部英語を使いました。もちろん、英語の後で日本語訳も話しました。

そこで、ビーバー隊は、隊集会で英語を使うことにしたのです。

さきほどの続きはどうなったのでしょうか。

白木隊長は、浜嶋団委員長とこのことでなにか話し合っているようだ。

スカウトが全員揃ったので、白木隊長がスカウトだけを集めて丸くなるように指示した。そして、腰を下ろさせて、まじめな顔で話し始めた。

「さすが2年生だね。グッドモーニングの返事ができたね。今日から英語を少しずつ使うことにしました。入隊式で団委員長が、『英語を使う団にします』って言っていたよね。覚えているかな」

「覚えていない」

「覚えていないよ」

みんな口を口ぐちに同じことを言ったので、白木隊長は困った顔をした。

「ええー、覚えていないの。しかたがないなあ。それでは、みんなと作戦会議をします」

スカウトたちは、作戦と聞こえたので興味を持った。みんな真剣な顔になっていた。

「今、他のリーダーが原っぱの下で準備をしています。

開会セレモニーで、隊長が『グッドモーニング』というから、そのときにみんなも大きな声で『グッドモーニング』と言ってほしいのです。これは、スカウトと隊長の『グッドモーニング作戦』だよ。いいですか。だから、ここで練習をします」

ここで、けいこちゃんが聞いた。

「どうして練習をするの？」

「いいことを聞いてくれたね。理由が分かったらみんなで力をだせるものね。

その理由は一回で大きな声を出してほしいからです。

さっき、グッドモーニングを言えなかったスカウトがいたよね。今度はできるかな。できないかもしれないね。でも、一回でできるとかっこいいからです。

みんなが、最初から大きな声を出せたら気持がいいでしょ。

気持ちがいい挨拶ができれば、一日が気持よくなるでしょ。

だから、練習して最初から大きな声で挨拶できるようにしよう。

今日は英語でグッドモーニングだよ。けいこちゃん、わかった？」

「わかったわ」

他のスカウトもわかったようだ。みんなやる気のある顔をしていた。

「じゃあ、『グッドモーニング作戦』の開始だ」

スカウトたちは、何か特別なことをやるような不思議な気持ちになって、わくわくしている。

「じゃあ、立ってください」

全員が立って、白木隊長の方を見るのを確認してから言った。

「グッドモーニング！」

「グッドモーニング」

ちょっと力が無い。

「はい、みんな言えたね。でも、もっと大きな声で言ってみよう」

「グッドモーニング！」

「グッドモーニング！」

「もう一回、もっと大きく言ってみよう」

「グッドモーニング！」

「グッドモーニング！！」

白木隊長はにこっと笑ってから言った。

「オッケー。いいよ。『グッドモーニング作戦』で、お母さんやリーダーたちをびっくりさせよう」

横で聞いていた浜嶋団委員長が言った。

「みんな、大丈夫だ。作戦を成功させようね。頑張ろう」

まこと君は、もう一度「グッドモーニング」と声を出した。

「そうだよ。まこと君、練習が大事だね」

浜嶋団委員長が声をかけると、他のスカウトも、「グッドモーニング」を連発した。

お母さんたちは、それを見て顔を見合わせて笑顔になった。

本番の挨拶は、全員が大きな声で「グッドモーニング」が言えました。この日は、「サンキュー」も言うことにしました。体力測定プログラムの中では、使う機会がありませんでしたが、閉会儀礼でこんなことで使いました。

次の浜嶋団委員長の挨拶は、ドイツスカウトからのワッペンプレゼントだった。

「白木隊長が、今日はサンキューを使ってみようと言ったけど、言うチャンスが無かったですね。それで、あのドイツスカウトのポールから預かっているワッペンを君たちに渡します。

これです。ドイツ隊のワッペンです。これはね、スカウトたちが初谷でドイツ

スカウトにプレゼントを渡したでしょ。そのときに、お返しのプレゼントを持っていなかったの、家に帰ってから、団委員長にワッペンをスカウトに渡してほしいと言われて預かっていたんだ。

これを受け取るときに『サンキュー』と言ってみましょう」

浜嶋団委員長は、たかし君の前に行った。

「ディス イズ フォーユー。 あなたに差し上げます」

「サンキュー」

「ユアー ウェルカム。どういたしまして」

一人ずつ、渡して回った。

英語を使うのは、朝の挨拶の「グッドモーニング」と今日の英語ということで、活動に関係する言葉を2つ使うことにしています。

今までに使った英語を紹介します。これは、ホームページに掲載されています。

集会で「英語を使おう」	
平成28年2月7日 隊集会 ・Let's go. さあ、行こう。(出発しよう。) ・Let's rest here! ここで休もう。	
平成28年1月17日 隊集会 ・Oh My God! おお神様!(あっちゃー!) ・Don't mind. 気にしないで。気にするな。	
平成28年1月10日6団、16団合同隊集会 ・You see? (わかりましたか。わかったでしょう) ・I see. (なるほど。わかりました。)	
平成27年12月6日隊集会 ・I did it! やったー。(いい結果がでたとき) ・You made it! よくやったね!(成功したとき) ・That's super! すごいね!	
平成27年11月15日隊集会 ・Do your best! 一生懸命頑張れ! ・Good luck! 頑張ってね!	平成27年9月13日隊集会 ・Good morning. ・Thank you. You're welcome. ・It's great. ・See you. Good-by.
平成27年10月18日隊集会 ・Did you get me? 今言ったことがわかりますか? ・I get it. わかりました。 ・I don't get it. わかりません。 ・I am hungry. お腹が空いた。 ・I am angry. 怒っています。	平成27年8月9日隊集会(ドイツスカウト交流) ・My name is ・I am six years old.
平成27年9月26日地区行事 ・Good morning. ・Good luck! ・You did it!	平成27年7月26日隊集会 ・My name is ・I am six years old.

1月13日の隊集会から、「グッドモーニング」を「グッドモーニン」に変えました。英語らしい発音にすることにしましたのです。日本語の母音を使わず、子音で止めることをスカウトに教えました。

小学校6年生になるとボーイ隊に進みます。ボーイ隊では、2014年の夏キャンプから開会式で英語を使い始めました。隊長の挨拶、団委員長の挨拶も英語です。

大阪城や姫路城で外国観光客と英語でコミュニケーションを取るプログラムもやっています。世界ジャンボリーに参加したスカウトは、感想を英語で話しまし

た。

高校生のベンチャー隊は、もう自己紹介も英語で話せます。

浜嶋団委員長は、ベンチャー隊になったときに海外スカウトとの交流で英語がきちんと話せることを目指しています。豊中地区からハワイレインボーキャンプに参加したスカウトが英語をもっと話せたらよかったという反省を聞いて、小学生から英語に慣れるようにしようと思い立って始めたのです。ラジオの英語番組を聞きながら勉強しています。スカウトが、自分よりも英語が上達することを願っています。

お母さんたちの協力もあります。お母さんたちはこんなことを話しています。

「どうですか、お母さんたち。英語を使う団にしたいですが。こんな感じで簡単な言葉でも、隊集会で英語を話すきっかけを作って行きたいんです」

スカウトのお母さん方にこう聞いてみました。

「今の子供たちはいいわね。私たちの子どものころは、こんなふうにはいかなかったわ」

「英語を使ってくれたらうれしいわね。ぜひやってください」

みなさん、賛成してくれました。

「私は、ビーバースカウトから始めたいんです。ベンチャー隊になったら海外派遣のプログラムに参加できるのです。でも、参加したスカウトからもっと英語ができれば良かったっていう感想を聞いています。このスカウトたちが大きくなったら、英語をペラペラになってほしいです」

「いまからやるといいですね」

「私は、英語は下手だけど、環境を作ることで頑張ります。若い指導者は結構英語を話せるんですよ。みなさんも話せるんじゃないですか」

「そんなことはないですが、子どものために応援はしますので、よろしくお願いします」

「簡単な言葉ですから、みんなで頑張ってくれたら、うまくいきますよ。これから楽しくなりますよ」

もう一つ、五月山公園のハイキングで歩いているときのことです。

しばらく登ってから、誰かがお腹が空いたと言った。そしたら、けいこちゃんのお母さんが、英語を話した。

「ハングリー。アイ アム ハングリー」

「お腹が空いたら、アイ アム ハングリー」

朝言っていたのと全然別の英語がでてきた。けいこちゃんのお母さんはすごい。そして、続いてまた英語が出てきた。

「アングリー。エイチを取ったらアングリー」

「アングリーは、怒るっていう意味だよ」

浜嶋団委員長が教えてくれた。そしたら、またお母さんが言った。

「ハングリー、アングリー、どんぐリー」

これには、近くにいた人はみんな笑ってしまった。山道にどんぐりが落ちていたからかな。こんなふうに英語や笑い声が出てくる。しんどかったけど、楽しい雰囲気になった。

「おもしろい。おもしろい」

隊集会では、英語に慣れることをしていきます。

勉強は各自でやってもらうのです。言葉を正確に話すことより、単語でもいいから何でも口にだして大きな声で言うことを活動に取り入れて行きます。スカウトからどんどん新しい言葉が出てくるようになったら楽しくなりますね。